

## 第3章 環境への負荷が少ない循環型社会の実現

### 第1節 3Rの推進

#### 1 3R活動の普及啓発

##### (1) 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

「買い物」を通して地球環境や廃棄物などの環境問題を考え、環境に配慮したライフスタイルの実践を促進するために、マイバッグの持参や環境に配慮した商品の販売・購入、簡易包装の促進等を内容とする「環境にやさしい買い物キャンペーン」を3R推進月間（10月）に実施し、資源の節約とゴミの減量化や家庭の省エネ意識の高揚を図った。

##### 【参加事業者数】

- ・百貨店、スーパーマーケット、ホームセンター等 40事業者（410店舗）
- ・商店街振興組合 6組合（105店舗）

##### (2) マイカップ普及啓発事業の実施

3R活動のなかでも優先順位の高い2R（リデュース・リユース）について、県民意識の向上を図り、廃棄物削減の取組みを進めるため、愛媛FCと協働し、集客力の高いホームゲームにおいて、普及啓発イベントを、7月27日（土）、8月4日（日）の2日間実施した。

##### ○実施内容

- ・会場：愛媛FCグッズショップ入口横にイベントブース設置
- ・内容：パネル展示、マイカップ・リユースカップ展示、環境クイズ、FCマイカップ人気投票

##### ○愛媛FCと連携

- ・オリジナルマイカップの販売による使い捨てカップの使用量の削減

##### (3) 3R活動普及啓発推進事業の実施

資源循環優良モデル認定事業において認定したリサイクル製品や廃棄物の3Rに積極的に取り組む事業所・店舗等を、環境イベント等において広く県民に周知し、認知度の向上を図るとともに、県民が身近に取り組める3R活動について紹介・展示等を行うことにより、県民の3R活動の普及促進と、3Rを意識したライフスタイルの定着を図った。

##### ① 「愛媛の3Rフェア」の開催

3R推進月間（10月）に合わせ、大型ショッピングセンターにおいて、優良リサイクル製品や事業所の取組みのほか、県民が身近に取り組める3R活動等について紹介等を実施した。

- ・開催日：令和元年10月5日～6日
- ・開催場所：エミフルMASAKI
- ・出展企業：8社

- ・(株)Eーシステム
- ・えひめの木になる紙推進グループ
- ・(株)カスタムテック ・(株)カネシロ
- ・佐川印刷(株) ・(有)トヨシマ瓦店
- ・長崎工業(株) ・(株)フジ



【「愛媛の3Rフェア」開催状況】

## ② 「3R体験ツアー」の実施

主に小学校高学年を対象として、県内のリサイクル製品の製造現場等を訪問し、3Rの取組みに触れる体験ツアーを実施した。

- ・中予コース ア. 実施日：令和元年8月2日  
イ. 訪問先：(株)カネシロ、えひめエコ・ハウス、松山容器(株)
- ・南予コース ア. 実施日：令和元年8月6日  
イ. 訪問先：(有)内藤鋼業、内子バイオマス発電所、丸三産業(株)

## ③ 他団体の環境イベントへの出展等

新居浜市（地球高温化対策地域協議会総会）や大洲市（体験フェスティバルin交流の家）のほか、(株)花王、(株)フジと協働の「いっしょにeco体験フェア」等に出展し、優良モデル認定制度のパネル等を展示したほか、身近な3R活動等の紹介等を実施した。

## 2 リデュース・リユース・リサイクルの推進

### (1) 使用済自動車の再資源化の推進

使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）に基づき、使用済自動車の引取り又はフロン類の回収について、各保健所において関連事業者の登録・許可及び指導を行った。

表2-3-1 自動車リサイクル法関連事業者の登録・許可状況

(令和2年3月31日現在)

区分 保健所	登録業者数		許可業者数		
	引取業	フロン類 回収業	解体業	破砕業	
				破砕前処理	破砕処理
西条	132	42	18	10	0
今治	55	24	16	4	0
中予	35	6	4	3	0
八幡浜	124	20	2	1	0
宇和島	73	15	9	3	0
複数保健所管	21	4	0	0	0
県計	440	111	49	21	0

※松山市所管分は含まない

## (2) 製紙汚泥の発生抑制等の促進支援

国のエコタウン事業として平成18年1月に承認を受けた「愛媛エコタウンプラン」の一層の具体化を図るため、中核事業に位置付けた「製紙スラッジのゼロエミッション」についての事業化や施設整備に向けた取組みを促進するため、「紙産業資源循環促進支援事業」を実施した。

### ① 工業会会員企業の取組みに対する支援事業（間接補助）

公益社団法人愛媛県紙パルプ工業会が会員企業を対象に行う、製紙スラッジ焼却灰の発生抑制や有効利用等を促進するための研究・開発等事業及び技術・設備導入事業に要する経費の一部を助成する事業について、県は、工業会に補助を行った。

○補助率等：10/10（補助限度額：26,047千円）

#### 【工業会の助成事業の概要】

・補助率等：研究・開発等事業 大企業1/2以内\*、中小企業3/4以内

※ただし、大企業が行う「特に3Rの推進に資する」と事業審査会が認定する事業は3/4以内

技術・設備導入事業 1/3以内

・補助事業者：3社（4件）

### ② 工業会が取り組む調査研究事業に対する支援事業（直接補助）

工業会自らが取り組む、製紙スラッジ焼却灰等産業廃棄物の発生抑制や有効利用等を促進するための研究・開発事業について、県は、工業会に対し補助を行った。

○補助率等：3/4（補助限度額：5,000千円）

#### 【工業会の調査研究事業の概要】

製紙スラッジ焼却灰の有効利用等を図るため、「製紙スラッジ焼却灰を活用した塗工材料の開発」について調査研究を実施

## (3) 廃棄物の再資源化に関する研究開発等の支援

県内産業廃棄物処理業者の循環型社会の構築に向けた取組みを促進するため、「資源循環技術等研究開発事業」の調査結果等に基づき、一般社団法人えひめ産業資源循環協会が中心となって取り組む地域の廃棄物等の3R（発生抑制・再利用・再生利用）を促進するため、「産業廃棄物処理業資源循環促進支援事業」を実施した。

### ① 産廃協会会員の取組みに対する支援事業（間接補助）

一般社団法人えひめ産業資源循環協会が会員を対象に行う地域の廃棄物等の3Rの促進に関する研究・開発及び機器整備、廃棄物等の発生抑制や減量化などの3Rを実現する技術・設備の導入に要する経費の一部を助成する事業について、県は、同協会に対し補助を行った。

補助率等：10/10

#### 【協会の助成事業の概要】

- ・補助率等：研究・開発等事業 3/4以内  
技術・設備導入事業 1/3以内
- ・補助事業者：3件

**② 協会が取り組む調査研究事業に対する支援事業（直接補助）**

協会自らが取り組む、日々進展し、高度化する産業廃棄物のリサイクルシステムや、温暖化対策、エネルギー革命等に即応した新たな再資源化技術等の調査研究事業について、県は、同協会に対し補助を行った。

補助率等：3/4

**【協会の調査研究事業の概要】**

会員の事業化を支援するために必要となる最新の再資源化システム・技術や温暖化対策等について、調査研究を実施した。